

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド」は、2016年6月22日に第11期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	「インベスコ 東欧・ロシア株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として、運用を行います。	
主要運用対象	インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド	「インベスコ 東欧・ロシア株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 東欧・ロシア株式マザーファンド	東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている企業の株式（国外に上場するDR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド	・株式および預託証券への実質投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。
	インベスコ 東欧・ロシア株式マザーファンド	・株式および預託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（原則として6月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



インベスコ  
欧州東方拡大株式ファンド



## 運用報告書（全体版）

第11期  
(決算日 2016年6月22日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース)		株式 組入比率	純資 産額
	(分配落)	税金 込配 分	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
7期(2012年6月22日)	6,495	0	△26.0	8,601	△30.5	98.3	2,208
8期(2013年6月24日)	8,286	0	27.6	10,245	19.1	99.4	2,149
9期(2014年6月23日)	9,378	0	13.2	11,831	15.5	99.5	2,039
10期(2015年6月22日)	8,579	0	△8.5	10,467	△11.5	98.3	1,654
11期(2016年6月22日)	6,972	0	△18.7	7,862	△24.9	98.9	1,245

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてMSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、MSCIインクが公表する前営業日のMSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (米ドルベース) に当日の米ドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。MSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックスは、MSCIインクが開発した株価指数で、同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCIインクに帰属しています。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース)		株式 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2015年6月22日	円	%		%	%
	8,579	—	10,467	—	98.3
6月末	8,392	△2.2	10,148	△3.0	98.6
7月末	8,273	△3.6	9,674	△7.6	99.0
8月末	7,836	△8.7	9,120	△12.9	97.5
9月末	7,316	△14.7	8,511	△18.7	97.6
10月末	7,746	△9.7	8,882	△15.1	98.5
11月末	7,965	△7.2	8,970	△14.3	100.7
12月末	7,058	△17.7	8,177	△21.9	98.8
2016年1月末	6,614	△22.9	7,665	△26.8	98.4
2月末	6,436	△25.0	7,462	△28.7	96.9
3月末	7,206	△16.0	8,578	△18.0	99.8
4月末	7,415	△13.6	8,482	△19.0	100.3
5月末	7,444	△13.2	8,391	△19.8	99.7
(期末) 2016年6月22日	6,972	△18.7	7,862	△24.9	98.9

(注) 基準価額は1万口当たりです。

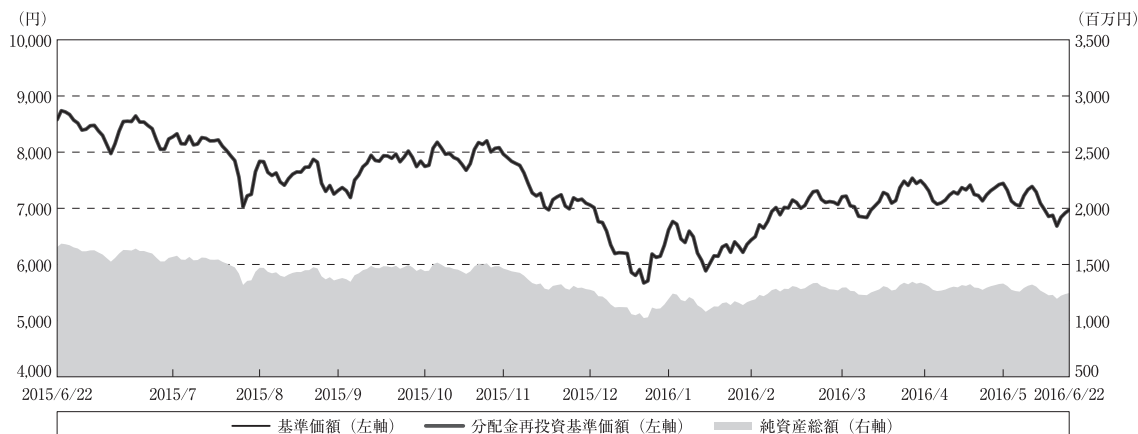
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2015年6月23日～2016年6月22日)



期首：8,579円

期末：6,972円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：△18.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2015年6月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の変動要因

### [上昇要因]

- ・中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション (投資価値) などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築した結果、SBERBANK (ロシア/銀行)、ROSNEFT-REG GDR (ロシア/エネルギー)、MAGNITOGORSK IRON & STEEL WORKS (ロシア/素材) などの株価上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・東欧諸国およびロシアの株式を実質的な主要投資対象としているため、原油価格の高い変動率に影響を受けたロシアと、新政権の政策方針が批判や混乱を招いているポーランドの株式市場が大きく下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・MAGNIT PJSC GDR (ロシア/食品・生活必需品小売り)、MMC NORILSK NICKEL PJSC ADR (ロシア/素材)、POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN (ポーランド/保険) などの株価下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、当ファンドの実質組入外貨建資産の大きな部分を占める米ドルなどが対円で下落したことが、マイナス要因となりました。

## 投資環境

ロシアRTS指数（ロシア）	△5.3%	プラハPX指数（チェコ）	△13.9%
ブタペスト証券取引所指数（ハンガリー）	+23.0%	ワルシャワWIG指数（ポーランド）	△14.6%

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期は、①新政権が掲げる政策方針が混乱を招いたポーランド、②大幅な原油価格の下落を背景としたロシア、③経済成長の鈍化が懸念されたチェコなどにおいて株式市場が下落しました。一方で、国内景気の改善期待などを背景に、ハンガリーの株式市場が上昇しました。

①原油価格が大きく下落したこと、②中国景気の鈍化によるコモディティ需要の減少一などを背景に、ロシアの株式市場は期初より2016年1月中旬にかけて大幅に下落しました。しかし①原油をはじめとする資源価格が反転したこと、②欧州中央銀行（ECB）が大規模な追加金融緩和策を発表したこと、③ドイツ首相と米國務長官がロシアに対する経済制裁を解除する可能性を示したこと一などを受け、株式市場は上昇に転じました。3月には同国の経済が最悪期を脱したことを示す経済指標が発表されたことも、株価を下支えする要因となりましたが、前期末の水準を回復するには至りませんでした。

ポーランドでは2015年10月に総選挙が実施され、最大野党が勝利しました。しかし、同党が掲げる政策では中央銀行に対して総利融資の実施を要請するなど中央銀行の独立性を損ねる懸念があるとの不安が市場関係者の間で広まり、銀行株を中心に株式市場は下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、主として東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）を投資対象とし、中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築しました。

当期は、ソフトウェア開発やITコンサルティングを行うLUXOFT HOLDING（スイス/ソフトウェア・サービス）、石油・ガスの探査や生産を行うNOSTRUM OIL & GAS（英国/エネルギー）、中東欧地域で低価格の旅客・貨物空輸サービスを展開するWIZZ AIR HOLDINGS（スイス/運輸）、ポーランドで小売店を経営するJERONIMO MARTINS（ポルトガル/食品・生活必需品小売り）を新規に組み入れました。一方、石炭およびセラミック製レンガメーカーのLUBELSKI WEGIEL BOGDANKA（ポーランド/エネルギー）、鉄鋼メーカーのNOVOLIPET STEEL-GDR REG S（ロシア/素材）、化学品メーカーのSYNTHOS（ポーランド/素材）、東欧・ロシア地域でリクルートサービスを提供するWORK SERVICE（ポーランド/商業・専門サービス）、スポーツくじの販売を行うFORTUNA ENTERTAINMENT GROUP（チェコ/消費者サービス）などの全売却を行いました。

また、当期末では「素材」「情報技術」「一般消費財・サービス」「資本財・サービス」などの組入比率が参考指数と比較して高めとなる一方、「エネルギー」「金融」「公益事業」などの組入比率は参考指数と比較して低めとなりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は△18.7%となり、参考指数であるMSCIエマージングイースタン ヨーロッパインデックス（円換算ベース）の騰落率△24.9%を上回る結果となりました。

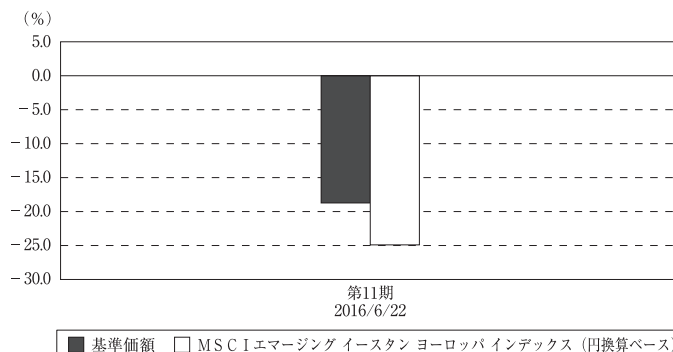
### [プラス要因]

- ・業種別では「素材」「金融」「エネルギー」の銘柄選択、「生活必需品」「公益事業」の組み入れを参考指数と比較して低めとしていたことがプラスに寄与しました。
- ・国別では、「ロシア」「ポーランド」における銘柄選択、「ポーランド」の組み入れを参考指数と比較して低めとしていたことがプラスに寄与しました。

### [マイナス要因]

- ・業種別では「情報技術」「素材」の組み入れを参考指数と比較して高めとしていたことなどがマイナスに影響しました。
- ・国別では「英国」の組み入れを参考指数と比較して高めとしていたことがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 参考指数は、MSCIエマージングイースタンヨーロッパインデックス（円換算ベース）です。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第11期
	2015年6月23日～ 2016年6月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,354

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

主として、マザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）に投資を行います。実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジは行いません。

マザーファンドでは、主として東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）を投資対象とし、中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築します。

歴史的に低い金利水準や主要貿易相手である西欧諸国の景気に支えられ、東欧諸国では景気回復が続いています。ユーロ圏の2016年1月－3月期域内総生産（GDP）成長率は前期比で0.6%の伸びを示し、市場予想を上回りました。一方ロシア経済は、GDP成長率で見ると景気後退の状態から脱していませんが、期末にかけて原油価格が1バレル50米ドルまで上昇し安定推移していることなどから、今後の改善に期待しています。ロシアに対する国際的な評価の改善を裏付けるものとして、ウクライナ侵攻に対する経済制裁を受けて以来初めてとなるユーロ債発行が好調に終わりました。外貨建て債務の縮小が進んでいるハンガリーは、長期国債の格付けが投資適格級を回復しました。

以上のような環境の下、当運用チームは、東欧・ロシア地域の経済の先行きや、魅力的な水準を維持している株式に対し明るい見通しを持っています。当ファンドでは健全なバランスシートとキャッシュフローを持ち、東欧・ロシアの景気が回復する過程で中長期的に収益成長が見込まれる分野で活躍する企業に注目しています。また、さらなる投資機会を発掘すべく、周辺国の企業調査も積極的に実施していきます。これまで同様、ロシア、ポーランド、ハンガリーなどを中心に広く国別の分散を図りつつ、企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーションなどを総合的に勘案し、魅力的な投資機会を発掘する方針です。業種では素材、情報技術、一般消費財・サービスに注目しています。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年6月23日～2016年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	153	2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 81)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	( 65)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 8)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.131	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 10)	(0.131)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 1)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	24	0.324	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 16)	(0.217)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 3)	(0.043)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 5)	(0.064)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	188	2.519	
期中の平均基準価額は、7,475円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

**○売買及び取引の状況**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

**親投資信託受益証券の設定、解約状況**

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ	東欧・ロシア株式 マザーファンド	千口 61	千円 79	千口 107,339	千円 146,539

(注) 単位未満は切捨てています。

**○株式売買比率**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

**株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	当 期	
	インベスコ	東欧・ロシア株式 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額		842,265千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		1,360,874千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

**○利害関係人との取引状況等**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**○組入資産の明細**

(2016年6月22日現在)

**親投資信託残高**

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
インベスコ	東欧・ロシア株式 マザーファンド	千口 1,116,494	千口 1,009,216	千円 1,258,291

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。



## ○投資信託財産の構成

(2016年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド	1,258,291	99.9
コール・ローン等、その他	1,442	0.1
投資信託財産総額	1,259,733	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,258,314千円）の投資信託財産総額（1,259,690千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年6月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=104.58円、1ユーロ=117.51円、1英ポンド=153.40円、100ハンガリーフォリント=37.35円、1ポーランドズロチ=26.74円です。

**○資産、負債、元本及び基準価額の状況** (2016年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,259,733,838
コール・ローン等	1,442,115
インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド(評価額)	1,258,291,723
(B) 負債	13,920,173
未払解約金	530,897
未払信託報酬	12,719,921
未払利息	3
その他未払費用	669,352
(C) 純資産総額(A-B)	1,245,813,665
元本	1,786,921,978
次期繰越損益金	△ 541,108,313
(D) 受益権総口数	1,786,921,978口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,972円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)  
(貸借対照表関係)

- |   |                |
|---|----------------|
| 1. 期首元本額                                    | 1,929,096,989円 |
| 期中追加設定元本額                                   | 91,775,902円    |
| 期中一部解約元本額                                   | 233,950,913円   |
| 2. 元本の欠損                                    |                |
| 貸借対照表上の純資産が元本総額を下回っており、その差額は541,108,313円です。 |                |

**○損益の状況** (2015年6月23日～2016年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 71
受取利息	23
支払利息	△ 94
(B) 有価証券売買損益	△ 244,574,750
売買益	21,132,769
売買損	△ 265,707,519
(C) 信託報酬等	△ 29,398,757
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 273,973,578
(E) 前期繰越損益金	△ 561,698,723
(F) 追加信託差損益金	294,563,988
(配当等相当額)	( 422,392,572)
(売買損益相当額)	(△ 127,828,584)
(G) 計(D+E+F)	△ 541,108,313
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 541,108,313
追加信託差損益金	294,563,988
(配当等相当額)	( 422,618,397)
(売買損益相当額)	(△ 128,054,409)
分配準備積立金	355,455,937
繰越損益金	△1,191,128,238

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するために要した費用は5,444,219円です。なお当該費用は、(C) 信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。  
計算期間末における費用控除後の配当等収益 (27,562,463円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (422,618,397円) および分配準備積立金 (327,893,474円) より分配対象収益は778,074,334円 (1万口当たり4,354円) となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

**○分配金のお知らせ**

当期の収益分配は見送らせていただきました。



# インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド

## 運用報告書

### 第11期

決算日 2016年6月22日

(計算期間：2015年6月23日から2016年6月22日まで)

運用方針	<p>①東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場（これに準ずるものを含みません。）されている企業の株式（国外に上場するDR（預託証券）を含みません。）を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>②株式の投資にあたっては、東欧諸国およびロシアの企業の株式を中心に、主たる企業活動がロシアおよび東欧地域である外国企業の株式にも投資します。</p> <p>③中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄に投資します。</p> <p>④株式の組入比率は原則として高位に保つことを基本とします。なお市況動向などによっては、一時的に株式の組入比率を引き下げる場合があります。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	<p>東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場（これに準ずるものを含みません）されている企業の株式（国外に上場するDR（預託証券）を含みません）を主要投資対象とします。</p>
組入制限	<p>①株式および預託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式および預託証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p>

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIエマージング イースタン ユーロッパ インデックス (円換算ベース)		株組入比率	純資産額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落率		
	円	%		%	%	百万円
7期(2012年6月22日)	10,622	△24.4	8,601	△30.5	97.6	2,224
8期(2013年6月24日)	13,825	30.2	10,245	19.1	97.7	2,185
9期(2014年6月23日)	15,943	15.3	11,831	15.5	98.3	2,062
10期(2015年6月22日)	14,982	△6.0	10,467	△11.5	97.3	1,672
11期(2016年6月22日)	12,468	△16.8	7,862	△24.9	97.9	1,258

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてMSCIエマージング イースタン ユーロッパ インデックス (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、MSCIインクが公表する前営業日のMSCIエマージング イースタン ユーロッパ インデックス (米ドルベース) に当日の米ドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。MSCIエマージング イースタン ユーロッパ インデックスは、MSCIインクが開発した株価指数で、同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCIインクに帰属しています。以下同じです。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIエマージング イースタン ユーロッパ インデックス (円換算ベース)		株組入比率
	騰落	率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2015年6月22日	円	%		%	%
	14,982	—	10,467	—	97.3
6月末	14,664	△2.1	10,148	△3.0	98.5
7月末	14,480	△3.4	9,674	△7.6	98.8
8月末	13,744	△8.3	9,120	△12.9	97.2
9月末	12,858	△14.2	8,511	△18.7	96.9
10月末	13,634	△9.0	8,882	△15.1	97.6
11月末	14,040	△6.3	8,970	△14.3	99.7
12月末	12,481	△16.7	8,177	△21.9	98.8
2016年1月末	11,717	△21.8	7,665	△26.8	98.4
2月末	11,417	△23.8	7,462	△28.7	98.2
3月末	12,820	△14.4	8,578	△18.0	99.2
4月末	13,211	△11.8	8,482	△19.0	99.6
5月末	13,288	△11.3	8,391	△19.8	98.9
(期末) 2016年6月22日	12,468	△16.8	7,862	△24.9	97.9

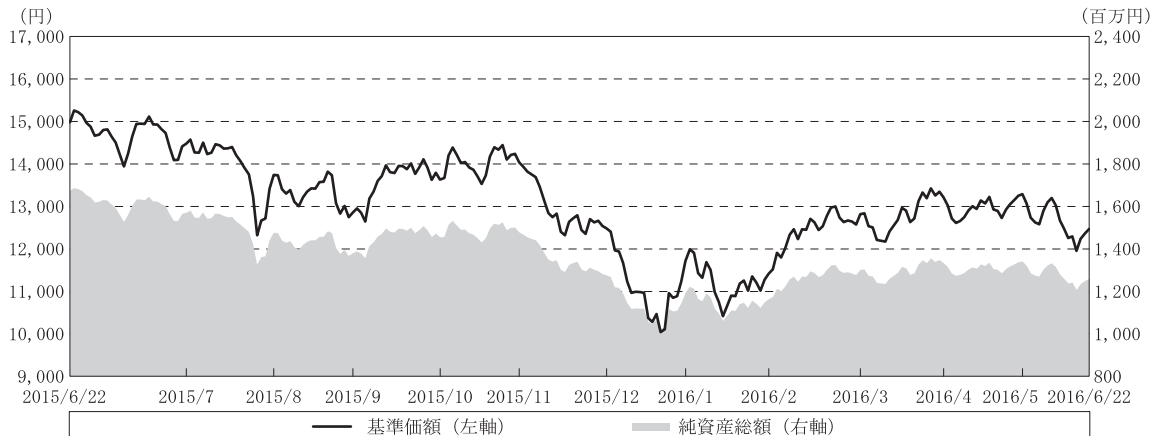
(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2015年6月23日～2016年6月22日)



期首：14,982円  
 期末：12,468円  
 騰落率：△16.8%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築した結果、SBERBANK（ロシア／銀行）、ROSNEFT-REG GDR（ロシア／エネルギー）、MAGNITOGORSK IRON & STEEL WORKS（ロシア／素材）などの株価上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・東欧諸国およびロシアの株式を主要投資対象としているため、原油価格の高い変動率に影響を受けたロシアと、新政権の政策方針が批判や混乱を招いているポーランドの株式市場が大きく下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・MAGNIT PJSC GDR（ロシア／食品・生活必需品小売り）、MMC NORILSK NICKEL PJSC ADR（ロシア／素材）、POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN（ポーランド／保険）などの株価下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、当ファンドの組入外貨建資産の大きな部分を占める米ドルなどが対円で下落したことが、マイナス要因となりました。

## 投資環境

ロシアRTS指数（ロシア）	△5.3%	プラハPX指数（チェコ）	△13.9%
ブタペスト証券取引所指数（ハンガリー）	+23.0%	ワルシャワWIG指数（ポーランド）	△14.6%

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期は、①新政権が掲げる政策方針が混乱を招いたポーランド、②大幅な原油価格の下落を背景としたロシア、③経済成長の鈍化が懸念されたチェコなどにおいて株式市場が下落しました。一方で、国内景気の改善期待などを背景に、ハンガリーの株式市場が上昇しました。

①原油価格が大きく下落したこと、②中国景気の鈍化によるコモディティ需要の減少一などを背景に、ロシアの株式市場は期初より2016年1月中旬にかけて大幅に下落しました。しかし①原油をはじめとする資源価格が反転したこと、②欧州中央銀行（ECB）が大規模な追加金融緩和策を発表したこと、③ドイツ首相と米國務長官がロシアに対する経済制裁を解除する可能性を示したこと一などを受け、株式市場は上昇に転じました。3月には同国の経済が最悪期を脱したことを示す経済指標が発表されたことも、株価を下支えする要因となりましたが、前期末の水準を回復するには至りませんでした。

ポーランドでは2015年10月に総選挙が実施され、最大野党が勝利しました。しかし、同党が掲げる政策では中央銀行に対して低利融資の実施を要請するなど中央銀行の独立性を損ねる懸念があるとの不安が市場関係者の間で広まり、銀行株を中心に株式市場は下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）を投資対象とし、中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築しました。また、外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジは行いませんでした。

当期は、ソフトウェア開発やITコンサルティングを行うLUXOFT HOLDING（スイス／ソフトウェア・サービス）、石油・ガスの探査や生産を行うNOSTRUM OIL & GAS（英国／エネルギー）、中東地域で低価格の旅客・貨物空輸サービスを展開するWIZZ AIR HOLDINGS（スイス／運輸）、ポーランドで小売店を運営するJERONIMO MARTINS（ポルトガル／食品・生活必需品小売り）を新規に組み入れました。一方、石炭およびセラミック製レンガメーカーのLUBELSKI WEGIEL BOGDANKA（ポーランド／エネルギー）、鉄鋼メーカーのNOVOLIPET STEEL-GDR REG S（ロシア／素材）、化学品メーカーのSYNTHOS（ポーランド／素材）、東欧・ロシア地域でリクルートサービスを提供するWORK SERVICE（ポーランド／商業・専門サービス）、スポーツくじの販売を行うFORTUNA ENTERTAINMENT GROUP（チェコ／消費者サービス）などの全売却を行いました。

また、当期末では「素材」「情報技術」「一般消費財・サービス」「資本財・サービス」などの組入比率が参考指数と比較して高めとなる一方、「エネルギー」「金融」「公益事業」などの組入比率は参考指数と比較して低めとなりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は△16.8%となり、参考指数であるMSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス（円換算ベース）の騰落率△24.9%を上回る結果となりました。

### [プラス要因]

- ・業種別では「素材」「金融」「エネルギー」の銘柄選択、「生活必需品」「公益事業」の組み入れを参考指数と比較して低めとしていたことがプラスに寄与しました。
- ・国別では、「ロシア」「ポーランド」における銘柄選択、「ポーランド」の組み入れを参考指数と比較して低めとしていたことがプラスに寄与しました。

### [マイナス要因]

- ・業種別では「情報技術」「素材」の組み入れを参考指数と比較して高めとしていたことなどがマイナスに影響しました。
- ・国別では「英国」の組み入れを参考指数と比較して高めとしていたことがマイナスに影響しました。

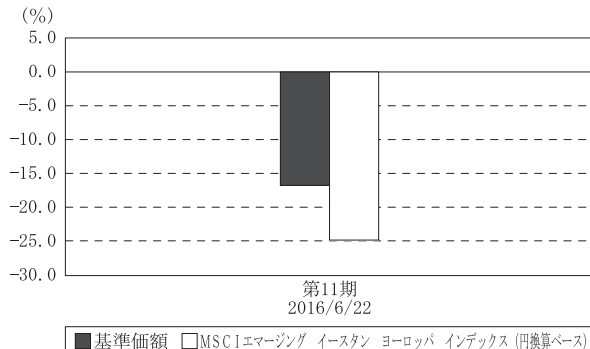
## ○今後の運用方針

主として、東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）を投資対象とし、中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築します。外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジは行いません。

歴史的に低い金利水準や主要貿易相手である西欧諸国の景気に支えられ、東欧諸国では景気回復が続いています。ユーロ圏の2016年1月－3月期域内総生産（GDP）成長率は前期比で0.6%の伸びを示し、市場予想を上回りました。一方ロシア経済は、GDP成長率で見ると景気後退の状態から脱していませんが、期末にかけて原油価格が1バレル50米ドルまで上昇し安定推移していることなどから、今後の改善に期待しています。ロシアに対する国際的な評価の改善を裏付けるものとして、ウクライナ侵攻に対する経済制裁を受けて以来初めてとなるユーロ債発行が好調に終わりました。外貨建て債務の縮小が進んでいるハンガリーは、長期国債の格付けが投資適格級を回復しました。

以上のような環境の下、当運用チームは、東欧・ロシア地域の経済の先行きや、魅力的な水準を維持している株式に対し明るい見通しを持っています。当ファンドでは健全なバランスシートとキャッシュフローを持ち、東欧・ロシアの景気が回復する過程で中長期的に収益成長が見込まれる分野で活躍する企業に注目しています。また、さらなる投資機会を発掘すべく、周辺国の企

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数は、MSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス（円換算ベース）です。

業調査も積極的に実施していきます。これまで同様、ロシア、ポーランド、ハンガリーなどを中心に広く国別の分散を図りつつ、企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーションなどを総合的に勘案し、魅力的な投資機会を発掘する方針です。業種では素材、情報技術、一般消費財・サービスに注目しています。

## ○当ファンドのデータ

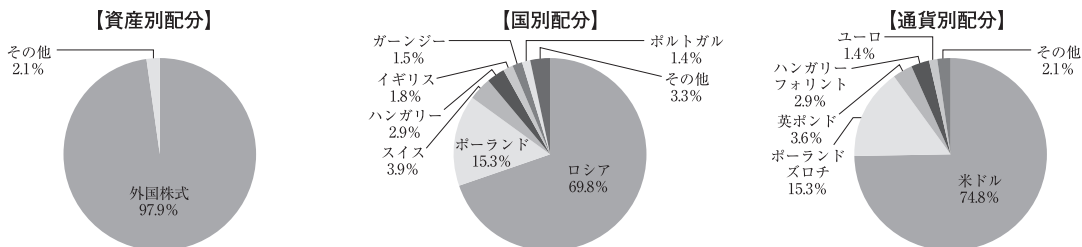
(2016年6月22日現在)

**【組入上位10銘柄】**

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	SBERBANK	銀行	米ドル	ロシア	9.1
2	LUKOIL PJSC-SPON	エネルギー	米ドル	ロシア	9.0
3	NOVATEK GDR-S	エネルギー	米ドル	ロシア	8.2
4	MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR	素材	米ドル	ロシア	6.7
5	PJSC GAZPROM	エネルギー	米ドル	ロシア	6.1
6	ROSNEFT-REG GDR	エネルギー	米ドル	ロシア	4.7
7	KRUK	各種金融	ポーランドズロチ	ポーランド	4.4
8	MOBILE TELESYSTEMS PJSC ADR	電気通信サービス	米ドル	ロシア	4.2
9	PHOSAGRO GDR-S	素材	米ドル	ロシア	4.1
10	PJSC ALROSA	素材	米ドル	ロシア	3.8
組入銘柄数			29銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国（地域）につきましては発行体の国籍（所在国）などを表示しております。



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。



**○ 1 万口当たりの費用明細**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 17 (17)	% 0.131 (0.131)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	2 ( 2 )	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	29 (29)	0.216 (0.216)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	48	0.359	
期中の平均基準価額は、13,196円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

**○売買及び取引の状況**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

**株式**

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 3,219 ( 532)	千米ドル 2,189 ( 923)	百株 6,232 ( 532)	千米ドル 2,799 ( 923)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ポルトガル	107	156	—	—
国	イギリス	625	千英ポンド 328	—	千英ポンド —
	チェコ	—	千チェココルナ —	285	千チェココルナ 1,968
	ハンガリー	38	千ハンガリーフォリント 22,149	80	千ハンガリーフォリント 53,134
	ポーランド	284 ( 495)	千ポーランドズロチ 1,307 ( —)	1,736	千ポーランドズロチ 3,112

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

(注) ( ) 内は株式分割、株式転換、増資割当、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 地域は発行通貨によって区分しています。ただし、ユーロ建ての外国株式は発行体の国籍(所在国)などによって区分しています。以下同じです。

**○株式売買比率**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

**株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	842,265千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,360,874千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

**○利害関係人との取引状況等**

(2015年6月23日～2016年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年6月22日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
			千米ドル	千円		
(アメリカ)	百株	百株				
MOBILE TELESYSTEMS PJSC ADR (ロシア)	560	575	505	52,857	電気通信サービス	
LUXOFT HOLDING (スイス)	—	45	263	27,591	ソフトウェア・サービス	
NORILSK NICKEL ADR (ロシア)	420	—	—	—	素材	
TATNEFT ADR (ロシア)	160	—	—	—	エネルギー	
PJSC MOSCOW EXCHANGE-RTS (ロシア)	1,775	1,900	344	36,024	各種金融	
LUKOIL PJSC (ロシア)	285	—	—	—	エネルギー	
PJSC GAZPROM (ロシア)	1,980	1,675	730	76,366	エネルギー	
NOVATEK GDR-S (ロシア)	107	95	990	103,623	エネルギー	
NOVOLIPET STEEL-GDR REG S (ロシア)	172	—	—	—	素材	
GAZPROM NEFT-SPONSORED (ロシア)	—	130	158	16,586	エネルギー	
ROSNEFT-REG GDR (ロシア)	—	1,075	562	58,853	エネルギー	
MAGNITOGORSK IRON & STEEL WORKS (ロシア)	1,000	200	101	10,562	素材	
MAGNIT PJSC GDR (ロシア)	117	85	264	27,690	食品・生活必需品小売り	
MAIL.RU GROUP GDR (ロシア)	102	85	170	17,778	ソフトウェア・サービス	
SBERBANK (ロシア)	1,400	1,270	1,091	114,195	銀行	
ETALON GROUP GDR-S (ガーンジー)	800	750	180	18,824	不動産	
PHOSAGRO GDR-S (ロシア)	489	330	493	51,594	素材	
KCELL-S (カザフスタン)	475	415	149	15,658	電気通信サービス	
TATNEFT PAO-SPONSORED GDR (ロシア)	—	102	308	32,276	エネルギー	
LUKOIL PJSC-SPON (ロシア)	—	265	1,080	113,030	エネルギー	
SURGUTNEFTGAS (ロシア)	6,050	3,400	205	21,440	エネルギー	
PJSC ALROSA (ロシア)	4,041	4,041	459	48,008	素材	
PJSC M.VIDEO (ロシア)	402	275	131	13,724	小売	
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR (ロシア)	—	610	805	84,271	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	20,337	17,324	8,997	940,959	
	銘柄 数 < 比 率 >	18	20	—	< 74.8% >	
(ユーロ…ポルトガル)			千ユーロ			
JERONIMO MARTINS	—	107	152	17,918	食品・生活必需品小売り	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	—	107	152	17,918	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 1.4% >	
(イギリス)			千英ポンド			
NOSTRUM OIL & GAS	—	550	151	23,222	エネルギー	
WIZZ AIR HOLDINGS (スイス)	—	75	143	21,974	運輸	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	625	294	45,197	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	2	—	< 3.6% >	
(チェコ)			千チェココルナ			
FORTUNA ENTERTAINMENT GROUP	285	—	—	—	消費者サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	285	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< -% >	
(ハンガリー)			千ハンガリーフォリント			
OTP BANK	181	140	96,040	35,870	銀行	
小 計	株 数 ・ 金 額	181	140	96,040	35,870	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 2.9% >	
(ポーランド)			千ポーランドズロチ			
CCC	122	95	1,614	43,159	耐久消費財・アパレル	
SYNTHOS	975	—	—	—	素材	
POLENERGIA	400	420	644	17,239	公益事業	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(ポーランド)	百株	百株	千円		
KRUK	150	107	2,085	各種金融	
LUBELSKI WEGIEL BOGDANKA	37	—	—	エネルギー	
WARSAW STOCK EXCHANGE	277	330	1,066	各種金融	
POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN	52	575	1,780	保険	
WORK SERVICE	470	—	—	商業・専門サービス	
小計	株数・金額	2,484	1,527	7,192	192,324
	銘柄数<比率>	8	5	—	<15.3%>
合計	株数・金額	23,288	19,723	—	1,232,270
	銘柄数<比率>	28	29	—	<97.9%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数および評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 業種については、MSCI世界産業分類基準の産業グループに準じています。

(注) 期中に銘柄コード等の変更があった場合は、当該銘柄は期首とは別銘柄として記載しています。

(注) 銘柄名の( )内は発行体の国籍(所在国)などです。

(注) 一印は組み入れはありません。

## ○投資信託財産の構成

(2016年6月22日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,232,270	% 97.8
コール・ローン等、その他	27,420	2.2
投資信託財産総額	1,259,690	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(1,258,314千円)の投資信託財産総額(1,259,690千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年6月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=104.58円、1ユーロ=117.51円、1英ポンド=153.40円、100ハンガリーフォリント=37.35円、1ポーランドズロチ=26.74円です。

**○資産、負債、元本及び基準価額の状況** (2016年6月22日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,273,262,824	
コール・ローン等	16,850,164	
株式(評価額)	1,232,270,593	
未収入金	21,873,386	
未収配当金	2,268,681	
(B) 負債	14,948,000	
未払金	14,948,000	
(C) 純資産総額(A-B)	1,258,314,824	
元本	1,009,216,974	
次期繰越損益金	249,097,850	
(D) 受益権総口数	1,009,216,974口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,468円	

&lt;注記事項&gt;

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	1,116,494,718円
期中追加設定元本額	61,832円
期中一部解約元本額	107,339,576円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド	1,009,216,974円
合計	1,009,216,974円

**○損益の状況** (2015年6月23日～2016年6月22日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	51,528,008	
受取配当金	51,525,958	
受取利息	2,053	
支払利息	△ 3	
(B) 有価証券売買損益	△316,798,532	
売買益	136,640,717	
売買損	△453,439,249	
(C) 保管費用等	△ 2,660,749	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△267,931,273	
(E) 前期繰越損益金	556,210,984	
(F) 追加信託差損益金	17,916	
(G) 解約差損益金	△ 39,199,777	
(H) 計(D+E+F+G)	249,097,850	
次期繰越損益金(H)	249,097,850	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。